

令和7年9月 吹田市連合自治会ネットワークテーブル概要

日時:令和7年(2025年)9月26日(金)

午後2時~午後5時

場所:メイシアター レセプションホール

市長と連合自治会が意見交換を行う場として、令和7年9月26日(金)、吹田市連合自治会ネットワークテーブルを開催しました。

1 グループでの意見交換

今回は事前にテーマを設定せず、参加者が A~D の4グループに分かれ、「地域の自慢・課題」をグループ内で話し合いました。その後、各グループでの気づきなどについて発表を行い、市長と意見交換を行いました。

2 市長との意見交換

市長

本日は、隣接していない地区でグループを作成していますが、同じテーブル内でも市内の地名について知っている方、知らない方がいると思います。それについて気づいていただくため、そのようなグループ構成にしました。

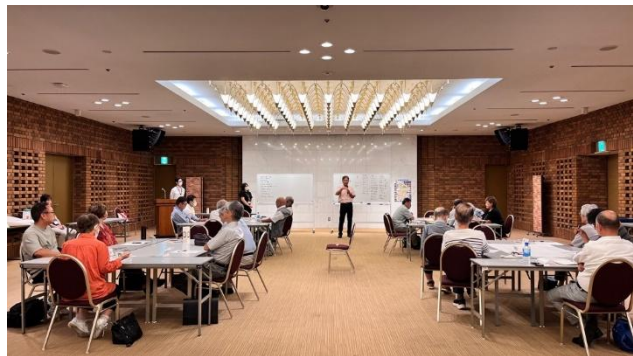
「15分都市」という言葉がありますが、自宅から徒歩・自転車で15分圏内に生活に必要な施設があり、しかも選択することができることが理想とされています。吹田市は、そのような都市です。例えば、吹田市にコンビニは100件以上あり、同規模面積の市町村ではかなり店舗数が多いです。

吹田市の人口は、現在約38万人で、40万人を超えることも想定しています。人口が増加する理由としては、AIの影響力が強いのではないかと私は考えています。例えば、関西圏以外から大阪に転勤になった際に、どこに住めばよいかAIに聞くと吹田市、豊中市、箕面市を薦めてきます。恐らく、その影響が強く表れているのではないかと推察しています。

職員採用試験の倍率も他市とは違う状況です。吹田市の一般事務職採用試験の倍率は30倍を超えており、採用者の約7割が女性です。

また、吹田市の男性の平均寿命が83.1歳となり、全国トップクラスとなりました。吹田市の医療が充実している証拠です。

スモークフリーの取組の影響もあり、市民の喫煙率は2割を切っています。スモークフリーは、受動喫



煙によって周囲に迷惑をかけることは止めようという取組です。吹田市職員の喫煙率はさらに低くなっています。

吹田市は、約 18 万世帯ありますが、一番多い世帯構成が単身世帯です。また、18 万世帯のうち 4分の3が集合住宅に住んでいます。この集合住宅の多さがコミュニティの繋がりを遮断しているのではないかと考えています。

吹田市の面積は、他の市と比較すると狭く、豊かじゃなかったら市町村合併もありえることだと思います。しかし、交通の利便性も良く、一切合併の話は出ていません。吹田市はそのような都市であることを念頭に置いていただければと思います。

A グループ

Aグループの4つの地区（吹一・吹六、千二、豊一、桃山台）は、地区内に2つ駅がある、大きな公園があるという2つの共通点がありました。また、4地区とも地区内の仲が良く、自治会だけではなく各団体や個人が連携して地域を盛り上げていっていることを実感しました。

地区の仲が良くイベントを続けられることはいいことであると思う一方、連合自治会長を続ける中でイベントの必要性に迷った時期がありました。しかし、市長が自治会長の仕事は祭りをするのと仰って、最初は疑問に思っていたのですが、イベント実施時には自治会未加入者も含めたくさんの方が来てくださり、そのような方と新しく繋がりができることは大事だと思い、続けないといけなさと感じていました。コロナ禍をきっかけにイベントを止めようと考えていましたが、市長の言葉で別の形でも続けないといけなさと思いました。

千二地区ゆかたまつりでは、スタッフの約半数を関西大学の学生ボランティアにお願いをしました。しかし、学生に丸投げしてイベントを実施できるものではなく、地域の大人も運営にもっと携わっていくべきだと実感したので、来年の実施に向け、当日の役割分担をしていこうと考えています。

イベント運営のモデルになれるよう頑張っていこうと思っていますので、他の地区のイベントも参考にさせてください。地域が盛んになったら吹田も盛んになると思っていますので、引き続きよろしくお願いします。

市長

本日のネットワークテーブルの狙いは、地域それぞれの違いと共通点を感じてもらうことです。

例えば、自治会のこれからのあり方はどの地区も共通しています。今後、自治会単独で行事を実施していくことはどんどん難しくなってくると思います。そこで、各団体の特徴を生かした上で、合同でイベントを実施していくことが大事になってきます。

イベント実施について、何とかしないといけなと思われる気持ちはよく分かります。各地区で工夫してイベントを行っているので、それを参考にしてほしいというのがネットワークテーブルの目的でもあります。市でも色んな情報を持っていますので、ぜひ一緒に吹田市を盛り上げていきたいと思っています。

B グループ

私が自治会長を務める春日自治会では、8月に夏祭りを行いました。加入世帯数は100世帯弱ですが、当日は600~700人ぐらいの参加者があり、盛大に迎えることができました。また、8月22日には千里新田小学校で夏祭りを行い、花火の打ち上げを行うなど、大いに盛り上がりました。コロナ禍以降、少なくなったイベントを徐々に広げているところで、先日は敬老会、10月の市民体育祭、年内には餅つきを開催したいと考えております。

グループワークの意見はまとめきれいてませんが、どの地域も高齢化が進んでいるということでした。今後は若い人を登用していきたいと思っています。

市長

吹田市では人口が増加している中で少子化が進んでいます。そのため、学校の統廃合は避けられない課題です。本日参加の皆様の頃と現在の教育環境は全く違います。それほど地区によっては高齢化が進んでいます。

これからは、既存のエリア区分にとらわれない発想で事業を進めていく必要があります。人口爆発が起こった際、縦割り図書館や公民館といった施設が作られましたが、この縦割りを破らざるをえない状況にあるのが今の日本です。

今のお話も、千里新田地区としてどうしていくか、縦割りの的に団体を運営していくことは、どんどん団体を弱めていくことになるということを意識していただければと思います。

C グループ

単一自治会もですが、連合自治会における、なり手が不足しているということがどの地区からも意見が出ました。そこで、34 地区の連合自治会長を市の臨時職員として雇用してはどうかということ由市へ提言させていただきます。解決策になるかどうかは別として、これも一つの案ではないかと思っています。

市長

なり手不足は、全テーブル共通の問題だと思います。それも昨日今日の話ではなく、継続的に危機感が増しています。

まず、自治会だけでなく、PTAや同窓会といった任意団体に加入する文化が大きく変わってしまったことは認めないといけません。昔と比較し、多くの方が忙しくなっています。それは、女性の労働人口や労働者比率が高まったことを意味します。団体を維持していくため、対面で行う会議を減らし、オンライン上で完結できるようにする。それで復活している団体もあります。それはPTAだけではなく、自治会もそうです。しかし、昔の自治会の本来の目的は、副次効果の顔を合わせることでした。要件だけを伝えるだけなら、紙やオンラインでもいいと思いますが、果たしてそれでいいかについては悩ましいところです。しかし、自治会が無くなってしまえばいいのではないかと思います。このままだと自治会に加入する人がいなくなります。自治会活動を維持していくための知恵を皆様からお借りたいと思っています。

夏祭りや体育祭を運営していくにあたりマンパワーが必要です。そのためには若手・中堅層が必要です。そこで吹田市の約5万人の大学生をどう活用していくかが鍵になります。餅つきをしたことが無いからやってみたいという大学生がいます。ここにヒントがあると思います。自治会員だけで運営しようと思わず、地域の若者の中に入れていってください。

D グループ

最近、都市部でも交通弱者と言われる高齢者が増えてきていますが、吹田市としてオンデマンド交通に対してどのような取り組みをしていくのでしょうか。

高齢者が病院や買い物に行くのも大変という状況です。吹南地区は、場所によっては各駅へ行くのにも約30分かかります。

そのような方にとって必要な交通システムをこれから吹田市で考えていただけるかどうかも含めてちょっと質問させていただきました。

市長

西山田地区も各駅から約30分かかりますが、乗客が多いため路線バス（阪急バス）がたくさん走っています。吹南地区も主要駅へ向かう路線バスが走っていますが、乗客が少ないため本数が多くありません。乗客が少ない路線は本数を増やしません。路線バスの本数が少ない地域にオンデマンドバスを走らせると、路線バス運行者事業者が路線バスの運行を廃止してしまいます。

そうすると、助け合いしかありません。例えば、病院に行きたい高齢者を送迎できるような関係をつくるには、コミュニティの強さが大事になります。自治会の大きな役割は、地域に住む人が今何をしているか思いを寄せることです。その道具として、地域の行事があるのです。

オンデマンドバスについては、悩ましいところですが、市営のオンデマンドバスを整備できる財政状況にある自治体は日本にはありません。千里丘・千里山地域でそれぞれ走っている「すいすいバス」は多くの方に利用いただいています。オンデマンドバスを整備するには、まずは調査を行う必要があります。利用者の見込みがあれば実証実験を行います。吹南地区でそのような意見があったことは土木部に伝えておきます。